

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	新門司地区スポーツ施設
	所 在 地	北九州市門司区新門司北二丁目 6 番 2 号
指定管理者 （自己評価者）	名 称	特定非営利活動法人北九州フットボールクラブ
	所 在 地	北九州市門司区新門司北二丁目 6 番 2 号
指定期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 1 2 年 3 月 3 1 日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
自主事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
硬式テニス大会事業	☑	○	
軟式テニス大会事業	☑	○	
ジュニアサッカー大会事業	☑	○	
少年サッカー教室事業	☑	○	
軟式テニス教室事業	☑	×	令和 8 年度から実施予定
	□		

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。		3
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。		
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。		
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		
【評価の理由、要因・原因分析】		
① 本施設の管理運営において他の類似施設と大きく異なるところは、天然芝球技場がサッカーJリーグ3部に所属するギラヴァンツ北九州の練習場となっている点である。令和7年度は、天然芝2面を年間280日間交互に使用してきたが、一般にサッカーやラグビーの試合や練習で使用する天然芝グラウンドの標準使用日数は年間30日～40日と言われている。それに対して本施設では天然芝1面につき標準使用日数の4～5倍使用していることになる。 また、天然芝以外の施設（人工芝球技場、庭球場、運動場）を一般利用者とのバランスを取りながら最大限活用し、サッカー、ラグビー、テニス等の大会や公式戦を数多く開催し、結果として年間来場者が初めて10万人を超えることができた。これによって施設の利用促進という設置目的の達成に繋がったものと考えている。		
② 施設利用者の増加を図る取り組みとして積極的に自主事業の運営に取り組んだことである。硬式テニスと軟式テニスの大会を合せて年間15回開催し、また大規模なサッカー大会（少年＆女子）を年3回開催し、更には毎月1回少年サッカー教室を開講するなどして施設利用のリピーター増加に結びつけた。 ・施設の年間利用調整の段階で、当初予定されていた大会や公式戦が諸事情により中止または他会場への変更となった場合に速やかに一般利用者が予約できるように処理することで施設利用のロスを最小化し、結果として利用者の増加に繋がった。 ・平日の施設利用促進の一環として取り組んだのが、平日夕方の学校部活の場所として本施設が利用しやすいのではないかと考えて、近郊の高校や中学に照会をかけたところ、マイクロバスを所有する高校や徒歩で来ることができる学校の利用が徐々に増え利用者の増加となった。 ・人工芝球技場における大会等でのトイレ不足を解消するため、仮設トイレを設置したが、トイレ使用時に必要となる水洗用給水タンクの水（トータルで約500ℓ）を施設職員が人力で補充し、利用者への便宜を図ってきた。		

・本施設において大規模なサッカー大会とギラヴァンツ北九州の公開トレーニングマッチが日曜日などに重なるケースがあったが、その際に駐車場の確保が問題となってきた。そこで施設周辺の除草作業を定期的実施することで100台余りの駐車が可能となり、施設来場者の駐車場不足の問題を解消することで利用者の便宜を図ってきた。

- ③ 施設間の有機的連携としては、人工芝球技場や庭球場で大規模な大会等が開催される際に、選手の試合前のアップ場として運動場を開放することで、主催者に変感謝されてきた。また、ギラヴァンツ北九州が定期的にトレーニングマッチをする際に、管理棟内の各部屋を相手チームや審判の控室として提供してきたが、今後も可能な限り継続して協力していきたい。
- ④ 例年同様にホームページで施設の年間利用予定やテニス大会の案内並びに大会結果、施設からのお知らせなど、各種の情報を発信した。その結果、近年では北九州市内のみならず下関市、苅田町、行橋市など近郊の地域からの来場者も増えてきた。

(単位：人)

【利用者数】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
要求水準	79,400	97,000	97,000	97,000	97,000	97,000
目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
実績	93,960	100,944	—	—	—	—

※ 令和7年度・・・評価対象年度

施設の設置目的の達成に関する取り組みについては、当初の計画に則って、適切な管理運営を行うことで施設の利用促進が図られ、結果として10万人の利用者数を確保できた。

(2) 利用者の満足度

評価レベル
(0～5)

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

5

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 令和7年度のアンケート調査結果は、「施設利用の感想」で96.6%から良好な評価を得ることができた。「テニスコートブラシの交換を希望」「日陰がない」「トイレを整備してほしい」といった声があったが、順次改善した。
- 次に、「職員の対応・マナー」については、99.8%から良好な評価を頂いている。
- ② 施設利用者からの声を聴くためにロビーに「ご意見・ご要望」の用紙を随時設置して、その声を施設の管理運営に反映させたが、同時に平素から窓口で利用者とのコミュニケーションを図ることを重視し、利用者の要望に可能な限り迅速に対応した。

- ③ 接客業の基本として、利用者から施設に対して苦情や要望などの意見が出しやすい環境となるように努めてきたが、同時に職員間のコミュニケーションづくりも大切にしてきた。そのためのツールとして業務日誌を重視し、利用者からの声が全職員に届くように職員間での情報共有を促進してきた。その結果、施設の管理運営上におけるミスを最小化することができた。
- ④ 各種大会の予定や結果さらには施設の利用情報などをホームページや広報誌で積極的に情報発信して、利用者の便宜を図ってきた。
- ⑤ 職員の「情報伝達力」を高めるために、基本的な情報の再確認と窓口業務の処理スキルの向上を図る取り組みを積極的に行ってきた。

施設利用満足度	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
要求水準	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
実績	95.2%	96.6%	—	—	—	—
有効回答数	290人	435人	—	—	—	—

※ 令和7年度・・・評価対象年度

職員対応満足度	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
要求水準	80%	80%	80%	80%	80%	80%
目標値	98%	98%	98%	98%	98%	98%
実績	96.2%	99.8%	—	—	—	—
有効回答数	290人	412人	—	—	—	—

※ 令和7年度・・・評価対象年度

利用者アンケートの結果、施設利用満足度及び職員対応満足度ともに目標値にわずかに届いていないが、内容を精査するとマイナス要素はほぼゼロに等しく、全体として利用者満足度は高かったと判断している。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ①施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

評価レベル
(0～5)

3

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 今年度の指定管理費のうち天然芝の維持管理費（委託費）は全体の予算の約 63%を占めている。そのため、諸経費を可能な限り切り詰めながら経費の低減化に努めてき

た。例えば、光熱水費についていえば、全職員が毎日電気の消し忘れや水道蛇口の閉め忘れを細かくチェックし、節電・節水に努めてきた。そのため、昨年度より低減が図られた。

- ② 天然芝の維持管理以外に専門的な保守点検業務（機械警備業務、電気保安業務、浄化槽保守業務）については、再委託先と協力し、緊急の場合に迅速な対応をしてきた。また、清掃や除草については、施設職員が可能な限り自力で作業することで経費の低減化を図ってきた。
- ③ 経費の執行については概ね①で述べたが、全体として施設利用者の利便性と安全・安心を最大限考慮した予算の執行を心がけ、また極力無駄な出費を控えてきたため、最終的に非常に効果的かつ効率的な執行がなされてきたと考えている。

(単位：千円)

【支 出】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
光熱水費	計画	3,745	2,748	2,748	2,748	2,748	2,748
	実績	5,972	5,456	—	—	—	—
修繕費	計画	2,750	3,164	3,164	3,164	3,164	3,164
	実績	3,816	1,583	—	—	—	—
その他管理運営費	計画	39,630	48,873	48,873	48,873	48,873	48,873
	実績	39,761	46,572	—	—	—	—
計	計画	46,125	54,821	54,821	54,821	54,821	54,821
	実績	49,549	53,611	—	—	—	—

※令和7年度・・・評価対象年度

※人件費はその他管理運営費に含む

経費の低減化については、天然芝維持管理費の比重が非常に高い中で、それ以外の少ない予算を効率的に執行してきた。

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 使用料（利用料金）収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入（例：協賛金など）を獲得できているか。
- ③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。

3

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 収入を増加するための取り組みとしては、3-1-(1)-②で述べた内容と重複するが、平日 16 時から 19 時の時間帯に近郊の高校や中学の部活動を積極的に誘致してきた。その結果、マイクロバスを所有する高校サッカー部（下関商業、希望が丘高校、早鞆高校、北九州高校等々）の利用が徐々に増加し、結果として収入の増加にも繋がった。また、年度当初に年間利用調整で予定されていた大規模な大会が中止または他会場

- への変更となった際に、速やかに代替利用を確保するなどして収入の増加を図った。
- ② 使用料収入以外の収入としては、自主事業の大会等の収入や自販機収入が中心となるため、積極的に取り組んできた。
- ③ 自主事業全体の収益（自販機収入）の一部を指定管理業務に還元し、指定管理費の不足分に充当することで利用者サービスに資することができるように取り組んでいる。

(単位：千円)

【収 入】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
指定管理 料収入	計画		57,935	57,935	57,935	57,935	57,935
	実績		55,282	—	—	—	—
自主事業 収益還元	計画		629	629	629	629	629
	実績		200	—	—	—	—
計	計画		57,935	57,935	57,935	57,935	57,935
	実績		55,482	—	—	—	—

※ 令和7年度・・・評価対象年度

(単位：千円)

【収 入】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
使用料実績		5,977	6,077	—	—	—	—

※ 令和7年度・・・評価対象年度

- ・収入の増加についてのいくつかの取り組みが功を奏して、過去に達成することができなかった利用収入（600万）を実現することができた。

<指定管理業務への収益還元の状況>

(単位：千円)

【実績】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
利益額	349	484	—	—	—	—
還元額	0	200	—	—	—	—
還元率	0%	41%	—	—	—	—

※ 令和7年度・・・評価対象年度

自主事業収入の一部を指定管理業務に還元できたので一定の評価をしているが、今年度以降も還元額の向上に一層努めていきたい。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

評価レベル
(0～5)

5

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	
【評価の理由、要因・原因分析】	
① 施設の管理運営にあたっては、職員の能力や経験を考慮して労務管理、保守管理、窓口受付、会計処理、自主事業運営等の各業務に適切な人員を配置することにより、日々の業務を合理的かつ効率的に運営してきた。また、外作業と事務処理を並行して行えるように適宜２人体制の勤務シフトにすることによって業務に支障が生じないようにしてきた。 ② 毎月初めのスタッフミーティングで業務上の諸問題等について職員同士で意見を交換しながら情報の共有や各々の資質・能力の向上に努めてきた。また、各種研修会（防火管理責任者講習会・建築物点検講習会・新予約システム説明会等）には担当職員を積極的に参加させることでそのスキルの向上を図ってきた。 ③ 本クラブ主催の硬式テニス大会「大庭産業新門司カップ」は平成 21 年から現在まで通算で 300 回以上開催しており、地域に密着した大会として高く評価されている。また、地元の少年サッカークラブ（寿山フットボールクラブ）との共催で少年少女サッカー大会を 20 年にわたって毎年開催しているが、市の内外から数多くの小学生サッカークラブが参加して活況を呈している。さらに、地元の中学校元教師でソフトテニスのコーチをしている方の協力で年に 3 回程度「新門司ソフトテニス交流大会」を開催して地域のスポーツ振興に貢献してきた。一昨年からは、地元の少年サッカークラブと共催で少年サッカー教室（グラスルーツ）を毎月 1 回開講しているが、これも同様の趣旨である。その他、本クラブが運営する女子サッカークラブ「ニューウェーブ北九州レディース」を主体とした女子サッカー大会「北九州レディース招待サッカー大会」を市との共催で開催しているが、今年度より小学生も参加することとなり、将来的にはより規模の大きな大会になっていく予定である。 施設の管理運営の実施状況については、職員の人員配置が非常に合理的に行われ、尚且つ職員のスキル向上に努めてきた。また、地域の関係団体との連携や協働についても多方面にわたって実現し、その成果が施設利用者の増加や地域のスポーツ振興につながることができた。	
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	5

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 利用者の個人情報としては、旧予約システムの団体登録時に入手した個人情報（氏名・住所・電話番号など）が約 300 件あるが、これらの情報が決して外部に漏れないように厳重な管理をしており、不正な利用の防止に努めてきた。
- ② 特定の団体や個人を特別扱いすることなく常に公平な対応をしていくよう全職員に周知徹底してきた結果、これまで利用者との間で大きなトラブルを起こしたことがない。特に、年間利用調整時に競技団体（サッカー協会やラグビー協会）の利用調整をする際は、特に慎重を期して可能な限り公平かつ適切に処理をしてきた。
- ③ ②と同内容
- ④ 金銭の取り扱いについては、常に複数の人員での厳密なチェック体制をとってきた。最終的には施設長が収支の内容に不適切な点がないかをチェックし、さらに顧問税理士にも毎月確認してもらい、経理上の不備がないよう努めてきた。
- ⑤ 日常の事故防止対策として、庭球場や人工芝球技場のショートパイル及びロングパイルに損傷がないかをチェックしたり、運動場（クレイ）の整備時に小さな石を除去することで怪我の防止に努めてきた。また、夏季の熱中症対策として日除スクリーン設置や利用者への製氷機の氷を無償提供、大型扇風機の設置などの対策を講じた。
- ⑥ 施設の防犯対策として、盗撮や置き引きなどの予防として職員から利用者への呼びかけや掲示物を通じて啓発に努めてきた。また、防災対策としては、本施設が海沿いに位置しており地震や津波の際に大きな被害が想定されるため、予め防災マップを備えて緊急時避難先を確保できるよう準備してきた。
- ⑦ 事故や災害時における対応として緊急連絡網を作成し、それに基づいて最も迅速かつ適切な対応をとれるように準備してきた。今後、大きな災害や事故が発生した場合においても慌てることなく、施設として最善の措置を取れるように職員会議等で検討し合いながら緊急時に備えたい。尚、施設に起因する事故が発生した場合に備えて「施設賠償責任保険」に加入してこれに備えてきた。
・平等利用については、特定の個人や団体を特別視せず常に公平性を担保してきた。安全対策に関しても、管理運営における会計に関してミスが生じないような体制づくりをしてきたこと、また日常の事故防止についても事前・事後の対策をしてきた。危機管理対策についても、安全対策同様に事前の準備をしてきた。

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】

令和 7 年度の新門司地区スポーツ施設の指定管理に関する総合評価をするにあたって、第 1 に挙げることができるのは、施設の利用者数及び利用料収入が過去最高の数値を達成したことである。このことは、我々が本施設の指定管理をしていく上で一番の目標としているところなので、これを達成できたことは非常に高く自己評価できている。また、冒頭でも述べたように、本施設はギラヴァンツ北九州の練習拠点となっており、我々指定管理者が最善の練習環境を提供しこれを継続して支援し続けることが、最終的に「市のスポーツ推進計画」の施策 1 に掲げるところの「スポーツを通じた都市ブランド力の向上」に大きく貢献できるものと確信している。

今後、本施設の指定管理を続けていく上で、是非とも取り組んでいきたいことは、自主事業に関連した協賛金や施設内の広告看板設置による収入を増大させていくことで、これらを指定管理費に還元し、施設利用者のための環境整備（特に夏季の熱中症対策のための屋根設置など）をしていくことである。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2	↓	要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。

施設概要（新門司地区スポーツ施設一覧）

	施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	設置目的
1	北九州市立新門司運動場	北九州市スポーツ施設条例	門司区新門司北二丁目6番2号	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。
2	北九州市立新門司球技場	北九州市スポーツ施設条例	門司区新門司北二丁目6番2号	
3	北九州市立新門司庭球場	北九州市スポーツ施設条例	門司区新門司北二丁目6番2号	